

資料②

遊びや場面		砂や水、土や泥に触れて (友達と一緒に)		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎			学びに向かう力、人間性等					
接続期までの遊びや学びのプロセス				・水や砂、土に触れてその不思議さに気付く。 ・用具を使って水を流して遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂や水がもつ特性に気付いたりする。 ・水が思うように流れないなど、失敗しても様々な方法を繰り返し試す中で発見したり達成感を味わったりする。			・友達と一緒に活動し、言葉を使って伝え合う中で、多様な考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを感じる。			・友達と一緒につくるという「目的に向かって協同する際、目的の共有をしたり、協力、折り合いをつけたりする。」					
0歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。			【接続期】 5歳児後半	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
1歳	・水に触れる心地よさを感じる。				○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
遊びや学びのプロセス															
2歳	・自分から関わろうとする。 ・水や土、泥の感触を味わう。														
3歳	・水遊びや泥遊びを友達や保育者と楽しむようになる。 ・泥で見立て遊びをするようになる。														
4歳	・自分の思いを伝えたり友達の話聞きながら、一緒につくる等、活動することを喜ぶようになる。			環境・援助のポイント											
5歳前半	・全身で関わる楽しさを味わう。 ・同じイメージをもってつくり、協力してつくり上げることを喜ぶようになる。			・遊びに必要なものを準備する。(バケツ、とい、ペットボトル、ジョウロ等) ・子供の気付きを大切にして、友達の考えの良さに気付いたり、集団の中でどの子も力を発揮できるようにする。 遊びが思うようにいなくても、試行錯誤し、最後まであきらめないうで、満足感や達成感を味わうことができるように、困ったときには一緒に考えるが、子供が決めて取り組めるようにする。											
				小学校のスタートカリキュラム	生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」										



幼児教育 と 小学校教育 が

つながるって
ということ



生活科

担当者からのメッセージ

お話し

お茶の水女子大学生活科学部
佐藤 寛子 先生

山城 祥二 先生
札幌市総合教育センター生活科センター

生活科の特徴

生活科は、真摯な態度や活動を通して「生活に関わる見方・考え方」を身にしかならぬ見聞・能力を養育する科です。

幼稚園から遊びの中や身近な人や自然、社会との触れ合いを通して、豊かな感性を生かし、小学校以降では体験活動と表現活動の両面作用で、果敢たる探究を果てています。また、学習指導要領解説別冊では、「1」の領域においては生活科を中心とした社会的、関連的な指導を重視し、道徳教育を通して与えられる学びの機会を小学校教育の学びの基盤としていくという認識が大切です。

幼稚園の遊びを通して育まれた「感じる」「気付く」「繰り返して遊ぶ」「考える」「話す」「伝えよう」といった態度・能力が、生活科学習に

図画工作科	担当者からのメッセージ
お話し 富岡小学校図画部活動担当 村上 香織さん	富岡小学校図画部活動担当 赤松 彩子さん

図画工作科の特徴

図画工作科は、表現及び鑑賞の活動を通して「造形的な能力・文化芸術の社会の中での役割や意義と生活に資する審美・視覚的表現を養育する」。

図画工作科の学習では、児童一人一人の個性を大切にしながら、造形的に表現しています。「造形的な能力・素養」とは、「造形物や美術作品を観て考える、自分から立ち発想し創製すること。自分のイメージを言葉に表現をつくりだすこと」です。感性や想像力は、創造性を育てる重要な要素です。形や色など自然物を模写し、図画工作科ならではの視点です。見方を変えて見ていくことは、豊かになる視野や想像をつくっていくことに

